

## 切り絵 講演・展示・ワークショップ

実施日：平成30年2月19日～3月3日 於：コロンビア, ブラジル (サンパウロ), エクアドル

### ■ 派遣専門家



古城 里紗  
図案師

グラフィックデザイナーとしてニューヨークで活動後、伊勢型紙に出会い、伝統工芸士の伊勢型紙彫師・内田勲氏に師事、着物の柄を創り出す図案師に。図案の技術を活かした切り絵作品も制作する等活動の幅を広げています。作家活動のかたわら、ワークショップの企画や海外アーティストとのコラボ、伝統の技術を次世代につなぐプロジェクトを同世代の職人と立ち上げる等、現代に生きる着物を提案する試みに取り組まれています。

### ■ 事業概要

#### ● コロンビア



サントドミンゴ職業訓練校でのワークショップ



ロスアンデス大学での実演

#### ● ブラジル (サンパウロ)



ジャパン・ハウス サンパウロでのTVバンデイレランテスによるインタビュー



ジャパン・ハウス サンパウロでの講演

#### ● エクアドル



クエンカ米州手工芸センターでの実演



キト・セントラル大学でのワークショップ

### ■ 実施結果

図案師の古城里紗さんが、コロンビア、ブラジル、エクアドルを訪問し、各地で有力芸術大学や職業訓練校を会場に講演・作品展示・ワークショップを行いました。講演では、切り絵作品や着物の染めに使用される伊勢型紙、時代を超えて現代に息づく日本の伝統デザイン等を紹介しました。ワークショップでは、切り絵や型絵染めの技法を用いたカード制作を通じて、その繊細さと洗練された質の高い職人技術を参加者に体験してもらい、使用した道具の購入を求める声も多く上がる等大きな反響がありました。講演施設では寄贈品の常設展示が表明され、政府・芸術関係者との意見交換も行き、コロンビアのTV番組ではワークショップの様子が大きく取り上げられました。